

コロナで公演激減…新たな舞台を

岩国市北部の山代神楽連絡協議会(7団体)が、舞の動画配信に乗り出す。今月末ごろ、動画投稿サイト「ユーチューブ」で第1弾を流す。新型コロナウイルスの影響で公演の場が激減する中、新たな「舞台」をつくり、伝統芸能の伝承とファン獲得を目指す。(和田木健史)



カメラの前で演技をする上沼田神楽保存会のメンバー

山代神楽動画配信へ

7団体 伝統継承ファン獲得

暗がりに明るく浮かんだ舞台。暴れ回る大蛇を相手に、スサノオノミコトが勇壮に刀を振るった。太鼓や笛の音、掛け声も力強く、熱演は約50分にわたった。

舞台の下に備え付けられたビデオカメラが舞を見つめる。演者が意識するのは、インターネット越しの視聴者だ。

保存会は今月上旬、地元の沼田ふれあい神楽交流館で「八俣大蛇」を撮影した。連絡協会は同市錦町、美和町、本郷町の7団体で構成する。動画配信は初めての

取り組みだ。背景には、公演の場が乏しいことによる伝承への危機感がある。「目標がないと練習に熱が入ら

なかつたという。今年もイベント開催の先行きが見えにくい状況が続

き、他団体の取り組みを参

柳井市中心部に26日、電球の明かりがともる金魚ちょうちん500個が飾り付けられた。新型コロナウィルスの影響で例年8月にある「柳井金魚ちょうちん祭り」が今年も中止になったため、祭りを主催する協議会が雰囲気だけでも演出しようと取り付けた。国の重要伝統的建造物群保存地区(重伝建)「白壁の町並み」では、柳井青年会議所のメンバーや市職員たちが1時間かけ、軒下に真新しいちょうちん300個をつり下げ

金魚ちょうちん涼誘う

柳井中心部に500個 30日から点灯

市内の10小学校の6年生260人が願い事を書いた短冊を添えた。白壁と青空に、赤いちょうちんのコントラストが映える。柳井川沿いの河川公園、JR柳井駅近くのレトロロ市民交流広場にも100個ずつ設けた。30日から8月31日までの午後7、10時に点灯する。市観光協会の木阪泰之会長(58)は「にぎやかな祭りではないが、日が暮れて涼みに訪れてほしい」と呼び掛けている。(山本祐司)

白壁の町並みに飾り付けられた金魚ちょうちん



市 況

(千円)消費税を含む

産地市場	消費地市場										産地市場
	山口	宇部	広島	岩国	下関	長門	萩	宇部	山口	宇部	
鯛	1188	587	4320	297	ア	ジ	バ	450	251		
サバ	630	406	2700	324	サ						

玖珂支局 0827(84)0256 FAX 8300001
大島支局 0820(72)0212 FAX(79)00005

頁(毎) 100円(毎) 500円(毎) 1000円(毎) 1500円(毎) 2000円(毎) 2500円(毎) 3000円(毎) 3500円(毎) 4000円(毎) 4500円(毎) 5000円(毎) 5500円(毎) 6000円(毎) 6500円(毎) 7000円(毎) 7500円(毎) 8000円(毎) 8500円(毎) 9000円(毎) 9500円(毎) 10000円(毎)